

2019年度(令和元年度)アメリカ研修報告

12月13日～21日

国際人文学科では毎年2年次の冬に修学旅行としてアメリカ研修を行なっています。19年度もホームステイを中心に、高校訪問、小学校訪問、グランドキャニオン&ラスベガス観光に行って来ました。

Day 1 ロサンゼルス空港→UCLA キャンパスツアー→ホストファミリーと対面



サンタモニカ



UCLA



ホストファミリーとご対面
ウェルカムボードを用意してくれました

ロサンゼルス空港に到着後、サンタモニカのビーチを散策。その後、UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）を大学生の案内でグループ毎に回りました。広大な敷地と充実した設備に驚きながら、学生さんのお話に耳を傾けました。

夕方には、大きなピザをごちそうになり、いよいよホストファミリーとご対面。大家族も一人の家族も皆さん温かく迎えてくださいました。半分以上はヒスパニック系で、スペイン語も話します。

Day 2・Day 3 ホストファミリーとの週末



クリスマスパーティー
をする家も

家族の一員として、家事をしたり、一緒に出かけたりして、「主張することの大切さ」を学んだという声が多く聞かれました。

Day 4 高校訪問①→小学校訪問



セラノ・ハイスクール 歓迎のサイン



校長先生の案内で小学校の授業を見学

月曜日はバスで Serrano High School(セラノ・ハイスクール)へ。バディ（お世話をしてくれる生徒）と一緒に授業を受けました。午後は Rancho Verde Elementary School (ランチョ・ヴェルデ小学校)へ。小学生の今学期最後の授業を一緒に受けました。

Day 5 高校訪問②→ホストファミリーとフェアウェル・パーティー



日本料理についてプレゼン



二人羽織を紹介



ソーラン節などの
ダンスで盛り上がり
ました

火曜日はセラノ・ハイスクールで授業、プレゼン、ダンス・パフォーマンスと盛り沢山。一生懸命準備した成果を発揮しました。お陰でセラノ生もとても喜んでくれ、たった2日間でしたが、素晴らしい友情を育みました。

そしてホストファミリーとの最後の夜。感謝の気持ちを込めて Thank you カードを手渡し、剣玉、あやとり、書道など、用意してきた日本文化の紹介をグループ毎に行いました。



グループ毎に日
本文化や
遊びの紹介



Day 6 ホームステイ先→グランドキャニオン



朝早く集合し、ホストファミリーと最後のお別れ。連絡先を交換したり、ハグしたりして別れを惜しみました。本当にお世話になりました！その後、8時間バスに揺られてグランドキャニオンへ。壮大な自然の中、地球の大きさを感じました。日の沈む様子は絶景です。

Day 7 グランドキャニオン→セリグマン(Route 66)→ラスベガス



この日はグランドキャニオンで朝日を見た後、バスでラスベガスに向かいました。途中、国道 Route 66 沿いのセリグマンを訪れ、古き良きアメリカの雰囲気を楽しみました。ラスベガスには世界各国の有名な建造物を模したホテルや光や噴水のショーなど、目を引くものが多くあり、驚きの連続でした。

Day 8・Day 9

ラスベガス→ロサンゼルス空港→帰国



前日の夕食です



最終日は日が昇る前に起きて、帰路につきました。ロサンゼルス空港で何時間も待たされるというトラブルがあり、疲れましたが、無事に到着。迎えに来てくれた学年主任の先生にお土産を渡して解散しました。

短期間でしたが、新たな発見がたくさんできたアメリカ研修。この経験をそれぞれの進路や将来の夢につなげていくことでしょう。毎年、市内の中学生に報告会を行なっていますが、コロナの影響で今年度は中止となりました。別の機会にまたご報告できればと思います。